寺報　龍正寺

日なた 221号

報恩謝徳

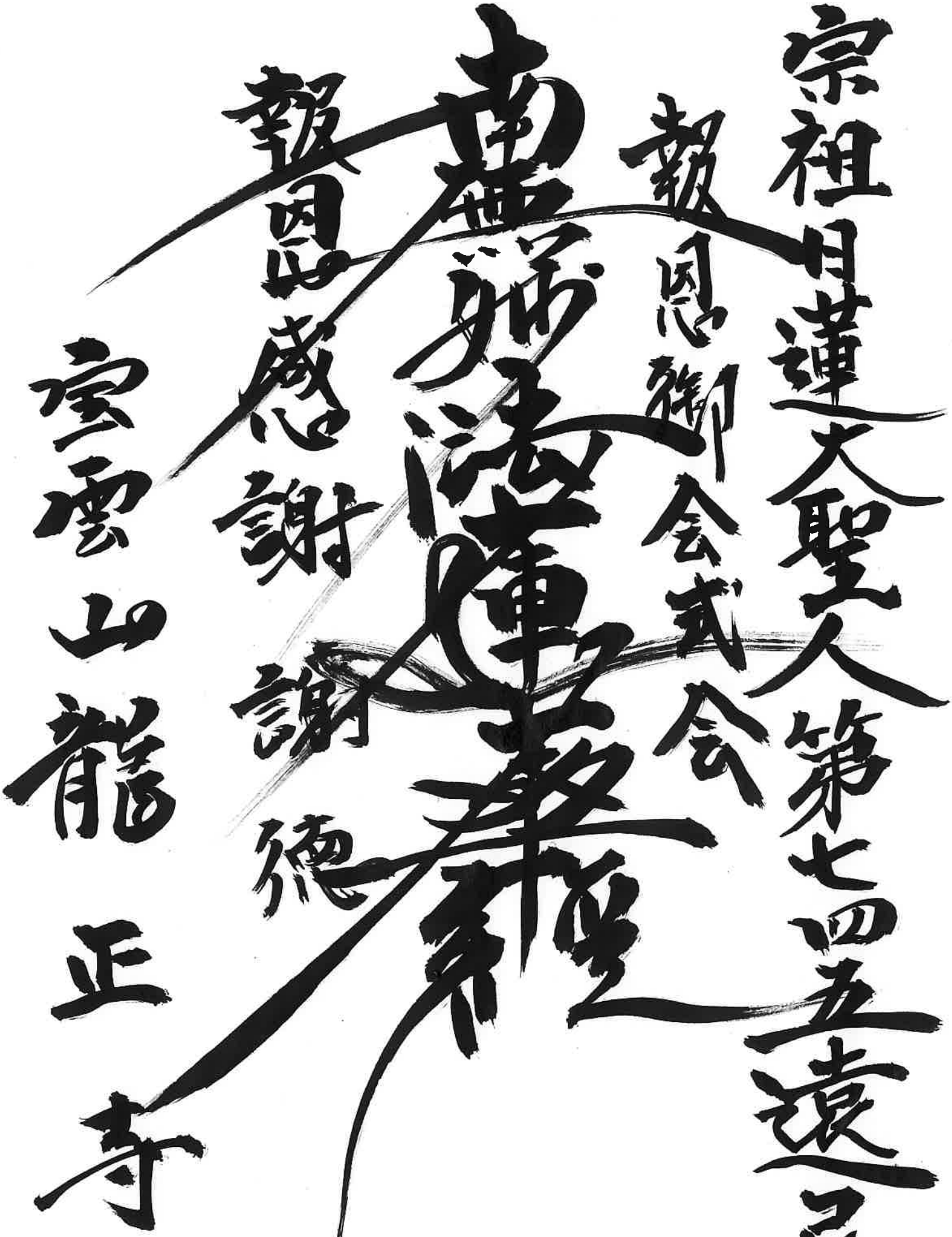
いのちに合掌

日廷

<令和 8年 10月>

宝龍会

護持会


宗祖日蓮大聖人第七五遠忌
報恩御会式会
南無妙法蓮華経
報恩感謝謝徳
雲雲山龍正寺

10月日蓮大聖人745遠忌の御会式会を迎える時になりました、今月は日蓮宗新聞社9月号の聖語を書き写し皆様に拝読していただきたく書写いたします。

日蓮大聖人ご遺文「種種御振舞御書」

『今日蓮は日本第一の法華経の行者なり』

日蓮聖人とはどのような僧侶だったのかをご存知でしょうか、時は鎌倉時代「日本は仏教国なのに国が乱れているのは何故だろう、お釈迦さまの教えはひとつであるはずなのになぜいろいろな宗派に分かれているのだろうというのが若き日蓮聖人の一番の疑問でした。比叡山での勉学を中心に諸宗の教えを学ばれた結果たどり着かれたのがお釈迦さまの「人ではなく法(教え)に従いなさい」という教えで、本当に言いたいことは「法華経」にあると確信されたのです。「人びとの本当の幸せ、世界の平和をもたらすには法華経を伝え弘めるしかない」という決意のもと、それを実践されたため数々のご法難(迫害)に遭われました。しかしこの実践と迫害の結果はすでに法華経に説かれていたため自身がまさに法華経の行者であると認識されたのです。日蓮大聖人54歳の時でした。お題目を唱えて倖せな日々を過しましょう 南無妙法蓮華経 ありがとうございました感謝です。

「父」

父は今年に入り心不全を患いました。
治療して心臓機能16%まで低下していたのが40%まで回復しました。
医師もこの回復ぶりにおどろいていたそうです。

84歳の父 恐るべし、身体機能。
細胞レベルで私達とは違うんだろうなと思いました。

年令からくる身体機能の低下や細胞のサビつきはあるにせよ、動ける体は尊敬です。

コロナ下で感染した時も家族の中で一番軽症であった父でした。

日々、仕事で重い金属を持ち上げたりしているので、自然と筋肉トレーニングしている状態。
年令の割にはしっかりと筋肉がついている体であり、筋肉の大事さをこの時あらためて思っていました。

私は1人身であるため、迷惑をかけない生き方をするには、体のメンテナンスの必要性をひしひしと感じている今日、この頃です。

血圧は高くなってきて、あらがえず、薬の内服しています。

関節はいろんな所が痛くなり、体重は全々減ってくれず、健康診断ではひっかかり、とほほの状態。

父の子でもあるので、細胞は似ていると信じ、少しずつではありますが、筋肉をつける行動をし年令にまけない体にしていきたいと思っています。

お経の中に「生老病死」さけて通れない事実。
これを体現しつつ生きていく、向きあっていく
父の姿を通して思ったことでした。

秋の訪れ

9月は雨の日が多くあっという間に過ぎました。秋の訪れの10月ともなります。

1年間を通して仏事の行事をご丁寧に行っていただけます事の有難さよりご先祖さまそして生かされております家族みんなが安心で過ごさせて頂けます。

有難さのくらしが有ります!!

7月には施餓鬼供養をおせわりなりました　9月23日は秋の彼岸供養もおせわりなりました　塔婆がいっぱい立てられて美しく飾り物お供え等々が並びます。お彼岸だんごおはぎと秋の訪れと共にご丁寧に彼岸供養が行なわれました!!　10月は唱題行とお会式ですピンクの美しいお花がお堂いっぱいに

飾られます 役員の方々が丁寧に飾り
つけなどをお世話して頂けます
いつも参拝の折に思いますことはこう
した等い行事に参拝をさせて頂けます
ことの有り難さを感慨深く思います
ご縁が頂けなければこの場には
座しては頂けません 参拝も楽しみに
出かけさせて頂きます お堂では信徒の
方々にやさしく温かくお声をかけて頂い
ております いつも甘えさせて頂いております
あの事もこの事も知らずのことばかりでした
がご法話の学びのおかげさまを何よ
りの有りがたさです お正人さまのご法話の
一句一句を聞きのがせませぬように聞き
入ります いつもお堂にかけてあります「今月の言葉」
よりです

心の汚れは世界を暗くする
心清れば明るい世界が広がる

心の汚れは石けんで洗っても落ちません
よ…との事です 心の作用 心の動きなどを
自分で整えて清くしてゆかねばの様に思
います 何事もすべて心の動きで良くもなってゆき
悪しきともなってゆく様に思ってみます

雑誌よりです

せめ年を重ねて下さい 人生は年を重ね
ますと面白く楽しくなれますよと書いて
ありました!!
面白く・たのしくすごしてゆくには健康でなけ
ればたのしみたくても たのしめずです…
それにはやはり 仏道の道の中より仏さま
のご守護が頂けなければと思います.
自分が大事であれば 自分が愛しければ
自分が明るく笑顔ですごせる日常生活を
規則正しくなくてはと思ってみます
わたくしは明るく笑顔ですごせますが足の痛み

がありますので家の中の細々とした事の用も
早く出きません ポストカードに

出来る 出来る 出来る 出来る 出来る
必ず出来ると書きます

この言葉も雑誌よりです

目のつく場所に貼って有ります.
机の前 電話の場所 洗面台…
出来ないことが多くなってきております老いの身
です. この言葉を目にします時…
出来るでしょうと言い聞かせます. 日常
生活が行であると学んでおります
幸せとは今日一日を家族みんなが無事で
すごさせて頂けました良きはが何よりの幸
せではないでしょうか… 第一日に導い
ご守護を頂けますおかげさまの有り難さ
に心よりの妙法を一心に唱えさせて
頂きぶじの一日に合掌で休ませてもら
います いつもの部やのいつものベットで幸せの一夜
があります

合掌

自分推し活

（推し…自分が応援しているお気に入りの人やアイドルの事）

運転中にラジオから〝あなたの推しは誰ですか？〟との問いに『自分を推し活』しています!!との言葉が耳に入ってきました。「自分？」「何？」と思いました。頑張っている自分自身を応援したい!!その言葉は私にとって「目から鳥肌の墨」（目から仇の墨をはいてよく見える様に、急に視界がひらけてよく見えるようになる事）「暗がりから牛を引く」（暗がりで見えなかったものが急にはっきり見えるようになる事）でした。

誰かの為に働く事で幸せを感じて人生を歩んできました。今も気持ちは全く変わりませんが、還暦を越えた頃から体力の衰えを感じる様になりました。精神力だけでは乗り越えられない現実を受けとめられずにいました。しかし、このラジオ放送を聴いて、はじめて「自分に優しくなろう。」自分自身にエールを送りたいと思う事が出来ました。自分自身に心のゆとりがなければ人にも優しく出来なくなると気がつきました。私の人生を全うする為にも、「推し活」しようと思います。

このラジオ放送が聴く事が出来た事に感謝です。

御題目を唱えていると、色々な妙法を頂けます。時には苦行を乗り越えて得られる事もありますが、それは必須な事だと思える様になりました。その苦行があるからこそ「三車火宅の譬え」の様に「羊車・鹿車・牛車」が最終的にそれらをはるかに超える「大白車」になる。(法華経 七つのたとえより)

私の一番の大ファンは私でありたいと思います。

〈10月の行事予定〉

10月4日（日）	13:00～	お会式会飾り付け
11日（日）	13:00～	唱題行
	14:00～	宗祖日蓮大聖人佐渡報恩御会式会法要
17日（土）	10～17	大故尊天祈願会
18日（日）	10:00～	鬼子母尊神 七面大明神 ）祈祷会

〈10月住職の予定〉

寺院にて法務、（時々施錠します。参拝の時は電話して下さい）

〈10月の予定〉

10月10日（土）	9:00～	飾り付け
11日（日）	法要後	片付け、準備
12日（月）	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
17日（土）		
18日（日）	法要後	片付け